

「信じがたい。新感覚の映画体験」インディワイア (米)★「説明不可能。忘れることも不可能」ヴォルチャー (米)★「圧巻」リベラシオン (仏)★「まるで魔法」テレラマ (仏)★「常識外」ル・モンド(仏)
中国でたった1日で41億円の興行収入を記録! 全米で30週に迫るロングラン!! 世界絶賛の熱量がいよいよ日本へ!!!

ただリンゴを食べるシーンが、
なぜこんなに悲しいのだろう。
 現実と夢が交わる世界、心と記憶が月明かりの
 中を彷徨いながらも、いまを生きている。

——**塩田千春** (美術家)

現実と夢の境界を彷徨う時間旅行。
 覚醒したままみる夢は、暗闇の向こうにいるあの影を呼ぶ。
 ビー・ガンの夜が、沈んでいた
 記憶の濃を触ってくる。

——**小田香** (映画監督 / 『嵐 ARAGANE』『セノータ』)

今年製作された世界の映画の中でも、
 特に優れている。
 私にはビー・ガン監督の成長が輝いて見える。
 『ロングデイズ・ジャーニー』は独創的な
 作品の魅力と言葉遣いを備えた、
 非常に特別な映画だと思います。

——**アン・リー** (映画監督)

夢の中でさらに別の夢を見ているような、
 ひんやりとした手触りの残る珍しい感覚の作品。
 単純に飾られた美しさを求めていない映像美に
 そこはかたなく60年代のフェリーニを思い出した。

——**大沢伸一** (音楽家・MONDO GROSSO)

ビー・ガンは魔法の杖も
 呪文も持たずに、
 現代でも魔法が使えることを
 証明してくれた。
 その魔法が見せてくれた風景は、
 今までわたしたちが
 見たことのないものでもあり、
 故郷のように親しくもあった。

——**清原惟** (映画監督 / 『わたしたちの家』)

映画の魔法は存在するのだと、観客に憑く
 ビー・ガン作品。3Dのワンシークエンスは圧巻。
 ギリシャ悲劇におけるコロスのようなミャオ族の合唱と共に、
**過去と現実と夢が交差する
 あの地点へトランスする。**

——**洞口依子** (女優)



過去と現在と夢が、情け容赦なく行き来するモンタージュ。
 落ちるように引き込まれ、脳内に染み込んだ。
 目を瞑ると今も、深い緑。

——**大九明子** (映画監督 / 『甘いお酒でうがい』『勝手にふるえてろ』)

走馬燈を見ているようだった。
 いざなわれて「眼鏡」をかけた瞬間から、
見ていたのは自分自身の夢だったのかもしれない。
 色彩が、細部が私の身体に未だに纏わりついてくる。
 私はビー・ガン監督の虜になってしまったのかもしれない。

——**しゅはまはるみ** (女優)

ストーカー ノスタルジア 夢
 アザミ嬢のララバイ 花嫁年華
 デッカーード 緑色のワンピース
 山口百恵 エルミタージュ幻想
 パードマンあるいわ....ミツパチ
 凱里 リンゴ 花火 くちづけ
 ゴンドラで深い夜に降りて行く

——**Ed** (イラストレーター)

私はビー・ガンが複雑な構造と
 独自のスタイルを確立していることに称賛を惜しまない。
特にその既視感の表現力には驚かされる。
 それは彼が心の中に閉じ込めた静かな鼓動が、
 雨から守られた家の中で狂気の花を咲かせているようなものだ。

——**チェン・カイコー** (映画監督)

沸き立つ匂い、空気、光と風、登場人物達の心理状況。
極上の映画体験。
 この世界のどこにもない、
 新しい世界を見せてくれる、奇跡の1本。

——**丸山健志** (映像作家『ラビリンズ』MV / 映画監督『恋しみの忘れ方』)

この映画には
詩的な美しさとロマンティックさがあり、
 それをスクリーンに実現させたビー・ガン監督に
 是非会ってみたいくなりました。

——**富沢ノボル** (Hair&Makeup artist)

今年(2019)の私のベストフィルム!

——**ポール・シュレイダー** (映画監督・脚本)

この映画は…夢想的で…抽象的で…フワッと浮遊感…
 でも若いから無茶してて(笑)…
 だから退廃的でなく…どこか前向きで逞しい。
 この中国の新しい監督は、
過去の映画的5W1Hに捕らわれていない。
 こりゃ大物だ。

——**小椋悟** (映画プロデューサー / 『下妻物語』『ピストル・オペラ』)

ビー・ガンはその過剰な冒険心を含め、
 まさに現代中国から生まれるべくして生まれた才能なんだろう。
動乱の中国の新時代に久々に現れた、
 映像主義を真正面から打ち出した作家。
 その表現は荒削りだが美意識と真摯に向き合っていて素晴らしい。
 そしてその戦略は驚くほどにスリリングだ。これだから世界は面白い。

——**半野喜弘** (音楽家『山河ノスタルジア』・映画監督『パラダイス・ネクスト』)

あ
 ら
 す
 じ
 父親の死を機に、12年ぶりに故郷へ帰ってきた男。彼はその地で、若くしてマフィアに殺害された幼馴染みや、
 自分を捨てて養蜂家の男と駆け落ちした母親の記憶のかげらを拾い集めるように、思い出の街を彷徨っていた。
 そして何より彼の心を感させたのが、ある運命の女のイメージだった。その女は、自分の名前を香港の有名女優と同じ、
 ワン・チーウェンだと言った。男はその女の面影を追って、現実と記憶と夢が交差する、ミステリアスな旅に出る—。



2020年2月28日(金)
愛と夢と記憶の旅へ

明石通り地下鉄B1出口正面 ココビル8F
 〒アトルシネマグループ
ヒューマントラストシネマ渋谷
 03 (5468) 5551 ttcg.jp

新宿駅後徒歩五分・伊勢丹メンズ館そば
新宿ピカデリー
 050-6861-3011

池袋駅東口・サンシャイン40階の東急ハンズ手前
池袋HUMAXシネマズ
 (03)-5979-1660
<http://www.humaxcinema.co.jp/>

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト3F
 〒アトルシネマグループ
シネ・リーブル梅田
 06 (6440) 5930 ttcg.jp

なんばパークスシネマ
 050-6864-7125
 南海電鉄なんば駅 中央口・南口直結

京都市みなみ会館
 ☎075(661)3993
 近鉄・東寺駅西へ1分

大丸東横 神戸明日ビルディングB1-4F
 〒アトルシネマグループ
シネ・リーブル神戸
 078 (334) 2126 ttcg.jp

レビチケ

前売券 ●オンラインチケット ●特典付カード ともに絶賛発売中!
¥1,400 (税込) [当日一般券¥1,900の処] *一部劇場を除く
 ※カードお求めの方には希少オリジナルデザインポストカードをプレゼント(数量限定・先着順)



Begin, Bi Gan